



# 陽風園だより

No. 121

令和8年  
4月発行  
夏秋冬

春

## ■ もくじ

- P2 令和8年度陽風園重点事業
- P4 各施設重点事業
- P7 ホームページリニューアル
- P8 感謝録・ボランティア掲示板

仁・愛・心 時代とともに 地域とともに



# 令和8年度 陽風園重点事業

～経営基本計画に基づき、福祉を取り巻く社会環境の変化に対応する～

## 1 経営基盤の強化と施設の充実

### ①特別養護老人ホームの利用率の向上

利用率向上に向け、特養3施設による特養ネットワーク会議において情報共有を徹底し、入所希望者への円滑な受入れにつなげる。

- 特養ネットワーク会議 年4回

### ②報酬における取得加算の拡大

サービスの質の向上や要介護度の高い利用者への対応強化により、報酬で取得できる加算の拡大を図る。

### ③物価高騰への対応

食材料費等の高騰により食材の安定的な確保が難しい状況にあることから、食事サービスの質を維持するため、食費の見直しを行う。

- 特養3施設  
1日当たり1,500円から1,545円に改定
- 陽風園デイ  
1食当たり550円から600円に改定
- 木越デイ  
1食当たり600円から650円に改定
- ドゥ・リアン  
1日当たり1,600円から1,700円に改定

### ④養護老人ホームにおける適切な措置費の確保

近年の物価高騰により、収支状況が逼迫していることから、行政に対し、養護老人ホームに係る措置費の適切な改定を求める。

### ⑤人件費率の適正化

将来にわたり持続可能な経営基盤を構築するため、人件費の適正管理を図りつつ、総合的な人事労務制度の見直しを推進する。

- ベースアップ及び昇給等の見直し
- 勤務評価制度 試行導入

### ⑥三陽ホームの整備手法の変更

三陽ホームの整備方針を改築から改修へ転換したことに伴い、実施設計に沿って、着実に大規模改修工事を進める。

- 工事期間 令和8年4月から12月末
- 旧あけぼの作業所解体工事等外構整備 実施設計

### ⑦事業運営に必要な整備等の計画的な更新

利用者の安全で安心な居住環境を確保するため、各施設の老朽化した設備等を計画的に更新する。

- 第二万陽苑及び第三万陽苑  
高圧コンデンサ・トランス更新工事

- ハビリポート若葉・若竹  
吸収式冷温水発生機1基、冷却塔2基、  
非常用自家発電設備更新工事

### ⑧特別養護老人ホームへの法人内転居の推進

特養以外の入居施設（向陽苑崎浦、向陽苑木曳野、三陽ホーム、ハビリポート若葉・若竹）において常時介護が必要となった利用者が、安心して生活できるよう、必要に応じて特養3施設への転居を推進する。

## 2 地域に根ざした 質の高い福祉サービスの提供

### ⑨利用者のリスクゼロに向けた取組の強化

利用者の誤嚥・誤薬・転倒の防止を図るため、特養3施設でセンサーマットや介護用高機能ベッドを導入する。

- 介護用高機能ベッド 22台
- センサーマット 10台

### ⑩日常生活機能の維持

利用者の日常生活動作（ADL）低下を防ぐことを目的に、特養の理学療法士（PT）や作業療法士（OT）を向陽苑崎浦等に派遣する。

- 派遣回数 月1回以上

### ⑪あけぼのショップの積極的な活用

あけぼの作業所に併設したあけぼのショップを地域の会合等に利用してもらい、地域交流の拠点とする。

- 営業日 月曜日から金曜日（土曜日月2回）  
9:00から16:00

### ⑫地域との交流及び連携

研修室やホール等を地域の社会資源として活用してもらうとともに、各種イベントの実施を通じて地域との交流や連携を促進する。

- 8月 サマーナイトフェスティバル
- 10月 陽風園フェスタ

## 3 能登半島地震を契機とした 危機管理体制の強化

### ⑬業務継続計画（BCP）の運用

非常災害や感染症の拡大などの緊急事態に備え、早期復旧と継続運営が可能な体制を構築する目的で、研修及び訓練を行う。

- 研修及び訓練 年2回以上

#### 14 災害対策等の強化

利用者の安全・安心の確保を目的に、避難訓練や園総合災害図上訓練等を実施する。

- 園総合災害図上訓練 年1回
- 福祉避難所運営訓練（各施設） 年1回
- 不審者対応訓練（各施設） 年1回

### 4 DX及びSDGsの取組の強化

#### 15 質の高い福祉サービスや業務の効率化に向けたDXの推進

ICT等のデジタル技術を活用して業務の改善・効率化を進め、質の高い介護サービスを安定的に提供できる体制を確立する。

- 介護及び障害分野における記録及び請求システムの更新
- タブレット端末導入 46台

#### 16 科学的介護情報システム（LIFE）の有効活用

介護保険関係施設で導入した科学的介護情報システム（LIFE）による国のフィードバック情報を有効活用することで、科学的根拠に基づいた効率的かつ質の高い介護サービスを提供する。

#### 17 電子カルテの導入による診療所機能の強化

電子カルテを導入し、利用者の医療情報を法人全体で円滑に共有できる体制を構築し、業務の効率化と医療体制の強化を推進する。

#### 18 介護機器及びロボットの活用促進

利用者の生活の質（QOL）の向上と職員の負担軽減を図るため、介護支援機器等を導入する。

- 眠りスキャン 5台

#### 19 全施設におけるWi-Fi環境の整備

利用者の利便性向上と職員の業務効率化を目的に、計画的にWi-Fi環境を整備する。

- 本園通信インフラ再整備事業 実施設計

#### 20 エネルギー体制の見直し

設備等を更新する際、将来を見据えた安定的かつ効率的なエネルギー体制を確立できるよう、環境を整備する。

- 第二万陽苑、第三万陽苑、ハビリポート若葉・若竹 照明のLED化

#### 21 社会貢献活動の推進

地球環境の保全を目的として、地域清掃活動や食品ロス対策など、園として取り組み可能な社会貢献活動を積極的に実施する。

- 地域清掃活動 随時
- フードドライブ 年1回  
（金沢版子ども宅食推進事業）
- エコキャップ運動 年2回

### 5 仁愛の心と高い志を持つ人材の育成

#### 22 職員研修等の充実

人材の確保・定着・育成を図るため、キャリアパス研修を体系的に実施する。

- 陽風園キャリアパス研修 年14回
- 新任職員フォローアップ研修 年2回
- 次世代リーダー育成研修 年1回

#### 23 事業運営に必要な資格取得の支援

質の高い福祉・介護サービスを提供するため、事業運営に必要な資格の取得や更新を支援するとともに、職員の専門性の向上を図る。

- 社会福祉士 3名
- 介護福祉士 7名
- 精神保健福祉士 2名
- 介護支援専門員 7名
- ユニットリーダー 1名
- サービス管理責任者 5名

### 6 報酬改定等への適切な対応と体制の整備

#### 24 生産性向上に向けた取組の推進

介護業務の「間接的業務」の改善を図り、職員の業務負担を軽減することで、利用者対応の時間を増やすなど、生産性の向上に取り組む。

- 生産性向上委員会 随時

#### 25 協力医療機関との連携の強化

医療ニーズへの対応力を高めるため、緊急時の対応方法の見直しや感染症対策に関する研修の実施などを通じて、協力医療機関との連携を強化する。

- 定期連絡会 年1回
- 感染症対策研修 年1回

#### 26 協力歯科医療機関との連携の強化

高齢者施設等において、基本サービスである利用者の口腔衛生管理を計画的に行うため、協力歯科医療機関との連携を強化する。

- 口腔衛生管理体制に係る研修会等 年2回

#### 27 障害者施設における地域移行を推進するための取組の強化

ハビリポート若葉・若竹から地域生活への移行を推進するため、地域移行等意向確認等に関する指針の策定及び地域移行等意向確認担当者を選任する。

## 養護老人ホーム 向陽苑 崎浦

### 【崎浦こころとからだのいきいき活動】の実施

**去**年はこころとからだのいきいき活動の一環として認知症予防や健康増進および体力向上を目的に、音楽療法、健康体操脳トレ等の各種活動を継続的に実施し、利用者様の身体機能の維持向上を図ることを目的とした取り組みを行いました。

専門講師による「いきいき体操」を継続開催し、専門的な運動指導を通じて転倒予防や日常生活動作の改善を促進し、利用者様がいきいきと生活できる環境づくりや、さらに個室化による閉じこもりを防止するため、苑内におけるレクリエーションや外出行事の充実、調理環境の整備および料理教室の実施などにより、生活行動範囲の拡大と季節感のある生活の実現に努めました。

本年も同様の取り組みを継続し、より一層努力してまいりたいと考えております。



## 養護老人ホーム 向陽苑 木曳野

**利**用者の皆様が安心して暮らせる施設となり、地域におけるプレゼンスを高めるため情報発信と広報活動を強化します。

ホームページ等を活用し地域の皆様や関係機関と連携を深め、地域共生社会の実現を目指します。

利用者の皆様が地域と繋がり自分らしくいきいきとした毎日を過ごせるよう、施設内の行事の充実、1日旅行やドライブを計画的に行っていき、お一人での外出が困難な方にも出掛ける楽しみ、自分で選ぶ楽しみand喜びを持ってもらえるようお買い物ツアーを開催し支援していきます。

物価高騰が続く中、園統一サイクルメニューでのコスト削減に加え、調理員の手作りを取り入れた家庭的な食事の提供も目指し利用者様の健康をサポートします。



## 特別養護老人ホーム 万陽苑

**明**悠館（従来型）では、中規模生活単位の利点を生かし、利用者様の要望へのよりきめ細かな対応ができるよう努め、清風館（ユニット型）では、ユニットリーダーの育成を進めるとともに、ユニットケアとしての特徴を生かした個別ケアの推進に努めていきます。

利用者様の笑顔や活動性をより多く引き出すため、リビングなど共有スペースの有効な活用、生活・居住環境の充実に努めるとともに、園内の中庭やオノスクエア、プロムナード等を利用し、散歩や外気浴などを行い、利用者様の健康増進と精神状態の安定を図っていきます。



## 特別養護老人ホーム 第二万陽苑

**今**年度、第二万陽苑では重点事業の一つとして非常用発電機の更新工事を予定しています。

近年、地震や台風などの自然災害が増加しており、停電時においても利用者の皆様の安全・安心な生活を守るための備えがより一層重要となっています。これまで使用してきた非常用発電機は老朽化が進んでいたことから、より安定した電力供給が可能な新しい設備へと更新することになりました。

今回の工事により、災害時でも必要な電力を確保し、安心して過ごしていただける環境づくりを強化してまいります。

今後も、利用者の皆様の安全・安心を最優先に、ご家族様、地域の皆様にも信頼される施設運営に努めてまいります。



## 特別養護老人ホーム 第三万陽苑

**安**心と信頼される魅力ある施設づくり』を目標に、利用者様のニーズに寄り添い、安心した生活の提供に努めていきます。

今年度は、懐かしツアー企画として利用者様の思い出の場所に出かけ、“懐かしもの”を求める企画を実施します。また、社会貢献活動の充実も図ります。

昨年度に引き続き『能登復興応援プロジェクト第2弾』として、利用者の皆様と一緒に花を育てて能登の方々にお届けし、花いっぱい、笑顔いっぱいになってもらうことを願い活動します。

さらには、内川地区福祉活動計画による協力体制を推進し、地域の福祉拠点として地域行事等の参加や内川小学校との交流を行っていきます。

第三万陽苑が重要な社会資源の一つとして存在意義を発揮できるように取り組んでいきます。



## 陽風園地域福祉プラザ

**地**域福祉プラザでは、在宅で生活されている地域の皆様<sup>1</sup>が安心して暮らし続けることができるように、地域のネットワークを活用し、保険医療、行政、各種福祉サービス事業所と連携しながら支援を行っています。

令和8年度は、これまでも取り組んできた、「生産性向上（ICT活用）を推進し、「ケアプランデータ連携システム導入に向けての体制整備」をより一層進める予定です。「ケアプランデータ連携システム」とは、これまで居宅支援事業所とサービス提供事業所間で、毎月「手渡し・郵送・FAX」でやりとりしていたケアプランや書類関係をオンラインで一斉送信できるようになるも

のであり、令和8年度6月の介護報酬改定においても、重要なツールとして位置づけられます。また、連携先のサービス事業所もシステム導入していることが必要であり、地域全体で推進し体制整備を行っていくことで最大の効果を発揮します。

移動と紙の事務を減らし、仕事の効率化を図ることで、本来の専門業務に時間を割くことができるようになり、地域の在宅で生活されている利用者様との関わり時間を増やし、より良い支援に繋げていけるような体制の整備に今後も尽力いたします。



## 救護施設 三陽ホーム

**三**陽ホームは令和8年度に大規模修繕工事を実施します。現在の建物は昭和56年建築で45年が経過し、老朽化が進んでいます。当初は改築の計画もありましたが、調査の結果、建物の長寿命化や施設機能の向上が図れることから、大規模修繕工事としました。

この大規模修繕により、利用者関係では「快適な居住環境や生活環境等の向上」を目指します。2階・3階の居室は4人部屋から3人部屋へ改修するとともに、パーティションによるプライベート空間の確保、食堂のオープンフロア化、感染対応部屋の整備などを予定しています。

職員関係では「衛生的で機能的、働きやすい職場環境」を整備します。スタッフルームの洋室化や会議スペースの確保、新たな更衣室の整備などを予定しています。

また、設備関係では「省エネ化、コスト削減」を図ります。照明は全フロアLED化し、空調は全居室にエアコンを設置します。

工事期間中は、利用者の皆様には仮設場所に一時的に引っ越ししてもらうなど、ご不便をおかけしますが、生活に支障がないよう安全に工事を進めていきたいと考えています。

## 障害者支援施設 **ハビリポート若葉・若竹**

### 意思決定の支援について

**障**害者支援施設においては、今年度から利用者様の地域移行などに関する意向確認について、「地域移行等意向確認担当者の選任」や「指針の作成」、「個別支援計画への反映」などが義務付けられました。これを受け、当苑でも支援体制を整備してまいりました。

担当者は、施設で生活されている利用者様一人ひとりの地域での生活に対する意向を丁寧に把握し、その内容を個別支援計画の見直しや関係機関との連携に活かしていきます。しかし、利用者様の中には、そもそも他の選択肢を十分に知らない方や、自分の思いをうまく表すことが難しい方もおり、本人の意向を十分にくみ取ることが難しい場面も想定されます。そのため、意思形成の支援と意思決定の支援が

不可欠です。

こうした取り組みの大切さは地域移行に限りません。日常生活の多くの場面には意向確認の視点が含まれています。支援に携わる全ての職員が日々の関わりの中で意思形成と意思決定の支援を行うことで、希望や思いを丁寧に把握し、一人ひとりの希望に寄り添った支援が一層強化されると期待されています。

今回の支援体制整備は、単に制度上の義務化に対応することや、地域移行だけが目的ではなく、その人らしい暮らしの実現を目指すものであることを大切にしながら取り組んでまいります。

### 就労継続支援B型 **あけぼの作業所**

**あ**けぼのショップは自主製品の販売及びタウンカフェとして色々なシーンで皆様にご利用いただいています。

最近では、地域の方と他施設の利用者様や職員がショップで交流する場面も度々見られるなど、賑やかな日も増えてきました。

桜の時期はショップからの眺めで心が癒されます。飲料水の無料提供をしていますので、休憩場所などとして、商品購入の有無にかかわらずどなたでもお気軽にご利用ください。

また、会合の利用など人数が多い場合は、事前にご連絡をいただくと幸いです。

今後ともあけぼのショップは地域の交流拠点として、皆様に広く利用されるよう努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

営業日時：月曜日から金曜日(土曜日 月2回程度)  
9:00から16:00



### 認定こども園 **みずきこども園**

#### 「リトミック教室を導入」「食育の推進」「もりのこどもえん」

**仕**事と子育てを両立している保護者にとって子どもの習い事については時間が取れず、諦めてしまう声が聞かれます。そこで夕方の時間に4・5歳児が専門的知識を持つ講師の下で体育教室を行っています。運動を通して、挑戦し諦めない心や、仲間意識を育んでいます。今年度からは全園児対象でリトミック教室も取り入れることにしました。

食育の推進については夏野菜を栽培し生長を観察したり、加賀野菜で有名な五郎島金時を収穫したりすることを楽しみます。土との触れ合いを通して採れた野菜を使って、年齢や季節に応じたクッキングを行い、食べる意欲もどんどん高めていこうと思います。園での給食で気になる事のひとつに、食物アレルギーへの配慮が挙げられます。除去

食や代替食などにより、食物アレルギー対策にもできる限り万全を尽くしています。また年長児は給食スタッフと毎朝、お手伝いとしてその日の食材の下準備を一緒にし、年下児に今日の食材の紹介をしています。

3・4・5歳児が専門のインストラクターの指導の下、自然を体験するカリキュラムも経験しています。親子で体験する機会もあります。自然全てに関心を持ち、知識を深め、自然と仲良くできる心と生きる力の基礎を様々な活動から育てていきたいと思っています。



# ホームページがリニューアル!★

このたび、**陽風園**のホームページを **全面リニューアル**いたしました。



今回のリニューアルでは、地域の皆様や関係機関の皆様に、より分かりやすく各施設の活動をお伝えできるよう、構成およびデザインを一新いたしました。スマートフォンやタブレットからも閲覧しやすい設計とし、必要な情報へスムーズにアクセスできるよう改善しております。

また、日々の取り組みや行事の様子、お知らせなどをこれまで以上にタイムリーに発信できるよう内容の充実を図りました。あわせて、広報誌や料金表などの閲覧機能も整備し、各施設の活動をより身近に感じていただけるよう工夫しております。

今後も、地域に開かれた施設として、正確で分かりやすい情報発信に努めるとともに、皆様とのつながりを大切にしながら運営してまいります。

引き続き、当園の活動にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

スマートフォンをお持ちの方は右のQRコードをカメラで読み取るとホームページをご覧いただけます。また、下記のURLでもアクセス可能です。

<https://www.yofuen.com>



## 感謝録 1月～3月

(順不同・敬称略)

### ◆ ボランティア

- ひがしMサロン 代表 林田 孝一
- ほたるの会 代表 藤原 光恵
- ダンスボランティア 内川小中学校
- 大間圭介 ギターの弾き語り
- みんなよう麻の会

### ◆ 寄付物品の部

- 松田 忠秋 ● 廣島 洋子
- 合同会社 オールトラスト
- 匿名1名

### ◆ 寄付金の部

- 塩谷真一郎 ● 赤尾三根子 ● 熊走千代野
- 林 勇三
- 金沢市崎浦地区長会連合会会長 上森 弘
- 匿名12名

ご厚意ありがとうございました。

### ◎ 施設開放〈本園研修室等〉

三口新町東町会 花里町会 コーラスアップル  
三口新町南町会

### ◎ 実習・体験

介護実習第1段階 (金沢福祉専門学校) (万陽1名)  
介護実習第2段階 (金沢福祉専門学校) (万陽2名)  
ソーシャルワーク実習Ⅰ (北陸学院大学) (第二1名)  
ソーシャルワーク実習Ⅱ (金城大学) (三陽2名)  
臨地実習Ⅱ 給食経営管理論分野 (北陸学院大学)  
(ハビリ1名)

### ◎ 社会貢献活動

南小立野小学校ふれ愛リサイクル (本園)  
内川スクールサポート隊 (第三・ハビリ)

### 苦情受付状況について

令和8年1月から3月の間に苦情はありませんでした。  
今後も何かお気づきの点がございましたら、お気軽にお声がけください。

## volunteer message board ボランティア 掲示板

### 大間圭介さんのギターの弾き語り



### みんなよう麻の会

